

都市再生整備計画 事後評価シート  
古町地区

平成23年3月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	古町地区			面積	353ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2,850百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(市道8路線)、高質空間形成施設(遊歩道、階段、旧税関庁舎周辺整備)、地域生活基盤施設(街なかお宝解説板、観光案内板、文化財情報板、小路解説板)、既存建造物(街なか交流施設、旧小澤家住宅整備)									
			提案事業	地域創造支援事業(児童相談所、船着場整備、行政サービス施設)、事業活用調査(調査3件)、まちづくり活動推進事業(バス運行実験、観光ボランティア推進)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路(市道5路線)、高質空間形成施設(旧税関庁舎周辺整備)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	なし	・他補助事業への振り替え、事業の見直し			影響なし					
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道5路線、自由通路)、高質空間形成施設(旧日和山整備事業、一番堀通町東堀通線ストリートファニチャー)、既存建造物(旧斎藤家夏の別邸整備)	調整がまとまり事業の目的が立ったため			旧斎藤家の整備は、歴史・文化施設の入館者数増につながった					
			提案事業	地域創造支援事業(下水道事業2路線、市民祝祭)、事業活用調査(調査6件)	調整がまとまり事業の目的が立ったため ・政令市移行に伴うイベントが古町地区を中心に企画され、まちの活性化に寄与するものであるため ・今後のまちづくりに貢献する事業の事前調査			影響なし					
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	指標1	商店街歩行者通行量	人/日	38,892	H17	40,800	H22	△	あり なし ●	商店街歩行者通行量の減少傾向が続いてきたが、本計画による整備などにより、目標に達しないまでも、通行量の減少に歯止めがかかっている。		H24.1	
	指標2	歴史・文化施設入館者数	人/年	170,458	H17	187,500	H22	△	あり なし ●	H17～H19年は入館者数の落ち込みがあったが、H19以降は、旧斎藤家別邸取得、情報板整備などにより横ばい。		H23.6	
指標3	交流系施設の利用者数	人/年	122,186	H17	134,400	H22	○	あり なし	本計画において、既存百貨店に行政サービス施設が整備されたことによる。		H23.6		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	その他の数値指標1	まちあるきガイド件数	件/年	689	H20		1,800			本計画によるガイド養成講座から「新潟シティガイド」が設立されたこと、また本計画により新潟の魅力の再発見されたことによる。		H23.6	
	その他の数値指標2	上古町商店街歩行者通行量	人/日	2,455	H19		3,000			本計画による道路改良、関連事業によるアーケード整備及び地元商店街努力による。		H24.1	
その他の数値指標3	上古町商店街空き店舗数	件	14	H19		5			本計画による道路改良、関連事業によるアーケード整備及び地元商店街努力による。		-		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万代地区に船着場を整備したことで、信濃川ウォーターシャトルの利便性が向上した。</li> <li>・自由通路整備により万代地区からやすらぎ堤への動線ができ、利便性が向上した。</li> <li>・街なか交流センターを整備することにより、子育て世代の買い物客の利便性が向上した。</li> <li>・お宝解説板整備、お宝探検マップ作製などにより、まちの宝を再発見でき、まちあるきが快適で楽しみながらできるようになり回遊性も向上した。 など</li> </ul>												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	・旧小澤家住宅活用検討ワークショップ						都市再生整備計画に記載し、実施できた ●				ワークショップで出た意見のうち、実現が可能なものについては、開館後の企画事業等で採用していきたい。	
		・旧日和山整備検討委員会の開催						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●				平成20年8月からは「日和山委員会」と会の名称を改め9回開催し、維持管理や活用方法について検討を行なった。検討結果を参考に今後の活用などに活かしたい。	
持続的なまちづくり体制の構築	・基幹事業「古町通柳島町線」の路面整備について、地元住民主体の「早川堀通り周辺まちづくりを考える会」を設立し、水と緑を活かした具体的な整備案の検討に向けた勉強会を実施。						都市再生整備計画に記載し、実施できた ●				平成22年度からは地元住民主体による維持管理体制の構築と水辺の活用について検討を進めている。		

## 様式2-2 地区の概要


古町地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画の成果概要						
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標:地区内の回遊性・快適性・利便性を高め、湊町にいがたの歴史と最先端の文化・情報を同時に楽しむことが可能な人々が集い賑わう交流空間の創出	商店街歩行者通行量	単位:人/日	38,892 H17	40,800 H22	35,000 H22	
目標1:商店街のバリアフリー化や都市サインの整備を進め、訪れた人の全てが、快適に回遊できる空間を創出する	歴史・文化施設入館者数	単位:人/年	170,458 H17	187,500 H22	145,000 H22	
目標2:歴史、文化拠点の整備とネットワーク化を進め、湊町にいがたの歴史を感じることで空間を創出する	交流系施設の利用者数	単位:人/年	122,186 H17	134,400 H22	175,000 H22	
目標3:地区内で最先端の文化に加え、多様な情報、サービスを楽しみ、来街者の満足感を高めることで、人々が再び訪れたい空間を創出する		単位:	H	H	H	
		単位:	H	H	H	


**基幹事業**  
道路:八千代幸線(自由通路整備)




**基幹事業**  
既存建造物:  
街なか行政サービス設置




**提案事業**  
地域創造支援事業:  
街なか行政サービス設置  
(証明書等交付)

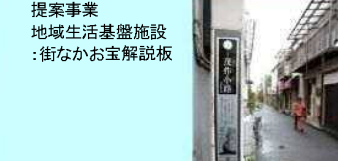





**提案事業**  
地域創造支援事業:船着場整備



**提案事業**  
地域生活基盤施設:  
街なかお宝解説板



**提案事業**  
事業活用調査:  
街なかお宝探検マップ



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日和山整備、街なかお宝探検マップ、情報板整備などにより、散歩できるまちづくりが創出された。さらに観光ガイドを養成することにより、まちなかをより楽しみながら回遊できるようになった。</li> <li>・旧小澤家住宅整備及び旧斎藤家別邸取得などの拠点整備を行い、さらに道路整備、情報板(お宝解説板など)整備及びお宝探検マップの作成によるネットワーク整備により、街なかを散歩しやすくなった。</li> <li>・街なか交流センター、街なか行政サービスコーナーの整備などによる行政サービスの向上、情報板(観光案内板)による観光情報の提供をすることを行った。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流系の施設整備等は完了したので、今後は市民協働によるイベント等で積極的な活用を行うことが必要。</li> <li>・まちあるきガイドを活用したイベントなどの、積極的な支援。</li> <li>・歴史博物館、旧小澤家住宅、旧斎藤家別邸それぞれの施設で魅力を積極的に発信し、民間活力を利用するなど集客を見込めるような事業展開を図るとともに、施設相互の連携を強化し、回遊性の向上に努める。</li> </ul>